

全てのJR労働者の力を結集し 賃上げを勝ち取ろう! 2019春闘 総決起集会

と き: 2019年2月24日(日)
12時30分より
ところ: ホテルラングウッド

全組合員でたたかいを創り出そう!
全JR労働者と共に決起しよう!

地本執行部は1月30日、飯山線の大根原踏切を訪れ、2011年2月1日に発生した踏切事故の慰霊・献花を行いました。当時の状況を感じながら、羽越本線の脱線事故と同様に二度と命に関わる事故を労働組合として起こさないという決意をこめて献花をし、黙祷を捧げました。

今後安全を最重要課題と位置づけ、職場から労働組合の枠にとどまらず安全議論や安全風土づくりに向け、全組合員で取り組んでいきます。



新幹線の安全な運行体制維持・向上を

申5号・新幹線駅ホーム担当社員の運用及び教育に関する申し入れ団体交渉

新潟地本は1月29日、申5号・新幹線駅ホーム担当社員の運用及び教育に関する申し入れの団体交渉を行いました。

新幹線駅ホーム担当社員が車掌に対して行う「乗降終了合図」が「乗降終了表示」に変更されたことで携わる駅社員の「運転適性」が不要となったことに対して、新幹線の安全な運行体制の維持・向上に向けて交渉に臨みました。

地本交渉団は、運転適性が不要となることにより3月に実施予定のダイヤ改正において、作業ダイヤに変更が生じるのか質しました。

支社側は、列車ダイヤ変更にあわせた作業ダイヤの変更はあるものの、施策実施による変更は発生しないと回答しました。

また社員の運用についても、首都圏と異なり新潟支社内の幹線駅では助役や改札、運情社員の代務もあり、既に柔軟な運用を行っているため大きく変わらないとしました。

その上で、今後も代務で1本だけ列車扱いをする

育も行うので、基本的に適性を持つている社員中心となるとして、適性を持たない社員は自駅の中で教育・訓練項目に基づき教育という流れになるとの考えを示しました。

支社として研修を行う考えはないのかを問うと支社側は、集合研修でなければ一定の水準に達しないとは考えていないとしてこれを否定し、教育内容、項目を通過して、現場での教育は可能と判断しました。

列車扱いの作業をいつ担当することになるかわからない、という駅社員の不安を指摘すると支社側は、列車扱いをしていない社員に対していきなり「明日入れ」との指示は考えていないとして、必要な教

飯山線踏切事故献花・慰霊 二度と命に関わる事故を起こさない

支社側は旅行業の環境としました。

サービスの低下を指摘すると支社側は、Web販売による価格面や手軽さなどのメリットもあり、駅などの環境整備や社員の対応化に対応して、販売のあり方へ特化するという考えを示しました。

Web販売に不慣れなお客さまへの対応を質すと支社側は、びゅう予約センターや市中のエージェンツを案内して、引き続き購入をしてもらう販売戦略となるとして、店舗廃止によるデメリットはない

びゅうプラザ4店舗廃止 見直し求め対立で終了

新潟地本は1月29日、申6号・びゅうプラザの業務運営体制の見直しに対する申し入れの団体交渉を行いました。

「びゅうプラザ酒田駅・びゅうプラザ新津駅・びゅうプラザ三条駅・びゅうプラザ上越妙高駅の4店舗廃止の見直しを求めて交渉に臨みました。

支社側は旅行業で働く社員について、これまでの成果は会社として認めなければならぬとして、これまでの知見を活かして当社の発展に欠かせない1人ひとりとして他の分野でも活躍していただきたいとしました。

地本会計監査を終了

新潟地本は1月28日11時00分より、新潟地本事務所において、2018年度一般会計の会計監査を実施しました。

対象となった会計期間は上半期分の2018年5月1日より10月31日までです。

監査の結果、会計規則に準じて処理されており、帳票類もよく整理されているとして、指摘事項は特にありませんでした。

今後も大切な組合費を厳正に管理・執行してまいります。

団体交渉の日程決定!

申7号
「システムチェンジ・コストダウン計画(ダイヤ改正)」
に対する申し入れ

2019年2月19日(火)
10時00分より

団体交渉に向けて
職場からたたかいを
作りだそう!

